

○ 理化学課 環境衛生担当

1 行政検査

環境衛生の確保及び公衆衛生の向上のため、水道原水や家庭用品等の検査を行い、環境保全関係では産業廃棄物最終処分場放流水等の検査を行いました。

令和4年度の検査状況は次のとおりです。

検査区分	検体数	延検査項目数
産廃最終処分場モニタリング調査(管理型)	70	888
産廃最終処分場モニタリング調査(安定型)	128	1,855
産廃最終処分場モニタリング調査(その他)	27	725
水道水質管理目標設定項目検査(原水)	5	560
水道水質管理目標設定項目検査(浄水)	5	45
家庭用品試買検査(ホルムアルデヒド・アゾ化合物)	10	126
事故・苦情関連検査	0	0
計	245	4,199

2 精度管理調査

(1) 検査技術の向上を図るために、国が実施する外部精度管理に参加しました。

ア 水道水質検査精度管理調査(厚生労働省) 件数:1件 延項目数:2

- ・ 無機物試料(測定項目:カドミウム及びその化合物、アルミニウム及びその化合物)

イ 環境測定分析統一精度管理調査(環境省) 件数:2件 延項目数:42

- ・ 模擬水質試料1(測定項目:六価クロム、カドミウム、鉛、砒素、全燐)
- ・ 模擬水質試料2(測定項目:ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、ペルフルオロオクタン酸(PFOA)、ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS))

(2) 県内の飲料水分析に従事する検査機関を対象に精度管理調査を実施しました。

県内の水道水質検査体制を確立し、水道水の安全性確保に資することを目的として外部精度管理調査を実施しました。

参加機関:7機関(佐賀県水道水質検査機関連絡会 会員)

測定項目:亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、マンガン及びその化合物

3 調査研究

県内の検査・研究機関のリーダー的役割を担うために、現在の検査技法(手法)に加え新たな手法の研究開発に取り組みました。また、県内外の研究機関や大学と共同での研究開発にも参加しています。

(1) 厚生労働科学研究「水道水及び原水における化学物質等の実態を踏まえた水質管理の向上に資する研究」

- ・ 水質分析法分科会(研究協力)

(2) 水質事故等にかかる原因物質の検索手法の開発